

2024年
11月1日
第3号

ひょうご NIE 通信

—2025 神戸大会へ—

発行 神戸新聞社 NIE 神戸大会事務局 〒650-8571 神戸市中央区東川崎町1-5-7
☎078-362-7003 メール hyogo-nie@kobe-np.co.jp



新聞活用を深め、広める NIE アドバイザー、兵庫に14人

NIE アドバイザーをご存じだろうか。学校での新聞活用を深め、広める先生方で、兵庫では現在14人が活躍中だ。

14人のうち11人は兵庫県 NIE 推進協議会が推薦し、日本新聞協会が認定した小中高の先生たち、3人は同協議会が認定した特任アドバイザーで、小中高の校長先生たちだ。

明石市立大久保小学校の若生佳久教諭(63)のアドバイザー歴は最長不倒の約20年に及ぶ。2001年夏の「第6回 NIE 全国大会神戸大会」でも実践発表をした。

「新聞を使った授業は面白い」と若生教諭が NIE 活動を始めたのは27年前。明石市内の教員らでつくる NIE 研究会の世話人を長く務め、赴任した市内各小学校では、多様な教

科領域で NIE を展開してきた。

そのうち、「(新聞の)『4コマ漫画』で起承転結を学ぼう」と「新聞に載っている大きな数を探そう」は、児童がとっつきやすい実践例として、「新聞で授業が変わる NIE ガイドブック・小学校編」(日本新聞協会、2020年発行)にも掲載されている。

若生教諭は「子どもたちが日頃から新聞を開く機会につながれば」と話し、来年夏の「第30回 NIE 全国大会神戸大会」でも「4コマ漫画で一」の取り組みを実践発表する。

アドバイザーの一人、姫路市立飾磨中部中学校の佐伯奈津子教諭(43)も兵庫で約15年、NIE に取り組み、普及に力を注いできた。神戸大会では、新聞の写真から一句をひねり出す「NIE 俳句」を実践発表する予定。



若生佳久教諭

4コマ漫画を並べ直す
児童 = 9月27日、
明石市立大久保小学校

アドバイザーの先生方は多士済々。姫路市立城北小学校の井上幸史教頭(52)らは、神戸大会で講演や発表の模様を、その場で文字やイラストによるグラフィックレコーディングにまとめる。

(神戸新聞社 NIE・NIB 推進部シニアアドバイザー
兵庫県 NIE 推進協議会
事務局長 三好正文)



新聞製ボンポンを手に踊る子ども。神戸市東灘区

新聞使って運動会

甲南小、甲南幼が連携、来夏発表

新聞紙をフル活用した運動会「こうなんシンプリニック」が10月22日、神戸市東灘区の甲南小学校・甲南幼稚園の講堂であった。小学校と幼稚園の連携行事で、子どもたちは、新聞紙で作ったボンポンやボールを使い、元気いっぱい踊ったり、玉入れをしたりしていた。

甲南小は日本新聞協会の NIE 実践指定校。来年夏の「NIE 全国大会神戸大会」で幼小連携の実践発表を行う。

運動会には3年生56人と年長組28人が参加。リレーでは、新聞紙を胸に当て、「よ〜いどん」で両手を挙げ、落とさないよう思い切り走った。

3年生はこれまで、宿泊体験などの内容をまとめた新聞を作成。運動会の企画では「新聞の楽しさを伝えよう」と、アイデアを出し合った。NIE 担当で司書教諭の田代弘子さん(54)は「児童たちは新聞をより身近に感じ、便利で楽しいものと考えようになった」と手応えを語った。今後、3年生は園児と一緒に記事のスクラップに取り組む。

(神戸新聞社 NIE 神戸大会事務局
網 麻子)

神戸新聞 2024年10月25日 金曜日 面名 教育 1 13 13ページ

なおみ先生の NIE 教室



今年、学校新聞コンクールの審査をしたとき「私は〜が楽しかったです」など、作文のような文体で「5W1H」(いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのように)が書けていない記事が多く見られました。教員時代、生徒が文化祭のチラシを作ったときも「本校体育館 学年パフォーマンス」と、学校以外の人には伝わらない案内を書いていた。

生徒は実用文が書けない!? 実用文とは新聞や案内、契約書、説明書などです。では読めるのか? 以前タブレット端末の設定をし

③ 共通テスト対策に

ている生徒に取扱説明書を読んでいるか尋ねたら「トリセツなんか読んだことない。ユーチューブを見ながらやる」と言っていたなあ。国語では、評論文で論理を、小説や詩歌で心情を読むことを教えます。評論文が読めるなら、当然、実用文を読んだり書いたりできるはず、と国語教師は考えていました。

しかし、教えないものはできなかった。そして数年前から実用文が高校入試に出題され、大学入学共通テストの国語には来年1月から出題されることになりました。共通テストの試作問題をやってみると、文章、図、グラフなどを読み、解答に20分かかりました。

実際の試験では10分で解かねばなりません。速く読む練習が必須です。効果的な勉強法は新聞を使うこと。図や表を載せている新聞記事を時間内に読ませ、教師が言う内容が書いてあったかどうか答えさせる練習はいかがでしょうか。速く正確に読む力がつきます。(NIE・NIB推進部顧問 吉田尚美)

◆NIEは学校で新聞を教材として活用する活動です。この連載は第4金曜に掲載。

よしだ・なおみ 県内公立高校国語教諭、三木北高校長、播磨南高校長などを経て現職。

新聞で速く正確に読む練習を

2024年10月25日付神戸新聞朝刊教育面に掲載されました